

## 「市町村の生活習慣病対策におけるデータ利活用の現状と課題の探索；半構造化インタビューからの考察」に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2025年5月14日～2026年3月31日
研究課題	Exploring current situation and challenges of data utilization for lifestyle-related disease control measures among municipalities; Insights from semi-structured interviews.
研究の概要	<p><b>【目的及び意義】</b> 本研究の目的は、市町村の生活習慣病対策におけるデータ利活用の現状を分析し、課題を明確化することである。</p> <p>市町村におけるデータ活用については自治体により進展度には差があり、課題として、データ解析や分析に関する専門人材の不足等があげられているが、実際の現状や課題が明らかになっているものはなく、課題の明確化は今後のデータ利活用の推進の大きく寄与できるものとする。</p> <p><b>【対象】</b> 神奈川県内市町村の生活習慣病対策担当部署（6市町村）</p> <p><b>【方法】</b> 対象市町村の担当者に対し、原則対面式で半構造化インタビューを実施し、帰納的テーマティックアナリシス法により分析を実施する。なお、インタビューは許可を得て録音し、逐語録を作成する。</p>
研究組織	<p><b>【研究代表者】</b> ヘルスイノベーション研究科 修士課程学生 行竹 三紀恵</p> <p><b>【研究分担者】</b> ヘルスイノベーション研究科 教授 渡邊 亮</p>
個人情報の取扱い	<p>本研究での個人情報を含む情報はインタビューの録音データ及び逐語録が該当する。具体的には、インタビュー内容の録音及び逐語録の作成過程において対応者の氏名や所属が記録される可能性があるため、録音データについては、利用閲覧が許可された者のみアクセスできる体制とする。逐語録については、作成時から氏名や所属などの個人情報を含まないよう匿名化して記載し、個人及び組織が同定されないように留意する。</p> <p>また、本研究で得られた情報は目的以外の理由で使用しない。個人情報を取り扱う責任者は代表研究者とし、データの管理及び閲覧できる者は代表研究者及び分担研究者に限定する。データ作成や管理等に関する委託契約は行わない。</p>
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 【問い合わせ先】

研究代表者：ヘルスイノベーション研究科 修士課程学生 行竹 三紀恵

研究分担者：ヘルスイノベーション研究科 教授 渡邊 亮

TEL：044-589-8100（代表）